



営農NEWS



イチゴの保温を開始前に、うどんこ病、ハダニ類、炭疽病、疫病などの病害虫防除を徹底しましょう

イチゴ栽培では本圃に定植し、保温を開始する被覆の時期となりました。今年は、8 月盆過ぎから「台風 7 号」に始まり、数多くが連続して襲来し、大雨や強風で被害を受けた圃場もあり、今後の栽培には注意が必要と思われます。

なお、被覆を開始するこの時期は、病害虫の防除も徹底する時期で、うどんこ病やハダニ類などの発生を見逃してしまうと、その後の栽培期間中を通して被害に悩まされる恐れがあります。

病害虫発生予報 10 月号（県病害虫防除所）によりますと、9 月下旬現在、うどんこ病やハダニ類の発生は平年並の状況です。しかし、日照時間が少ない状況が続いており、うどんこ病の発生には今後も十分な注意が必要です。また、ハダニ類は、ここ数年、多い～やや多い発生が続いています。

さらに、台風や秋雨前線の影響で降雨が多く、突発的に炭疽病や疫病などが発生する恐れもあります。

このため、本圃での病害虫を増大させないためにも、保温開始期における病害虫の防除徹底に努めてください。

＜うどんこ病、ハダニ類 防除のポイント＞

- 1) 初発生を見逃さないよう、葉裏や葉柄、果梗、果蕾などを丁寧に観察し、初発生を確認したら早期に薬剤防除を実施してください。この場合、葉裏や下葉にもよく薬液がかかるよう株全体に丁寧に散布することが特に重要です。
- 2) 既に多発生した場合には、罹病葉や葉柄、果梗、果実を出来るだけ除去してから薬剤散布を行ってください。
- 3) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、同一系統剤の連続散布は避けてください。

表 1 イチゴうどんこ病の主な防除薬剤（平成 28 年 10 月 4 日現在）

薬 剤 名	系 統	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※
アミスター20 フロアブル	ストロビルリン	1,500～2,000 倍	収穫前日まで / 本圃は 3 回以内	—
アフェットフロアブル	アニライド	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	1 日
イオウフロアブル	無機硫黄	2,000 倍	— / —	1 日
ガッテン乳剤	その他	5,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	○
トリフミン水和剤	E B I	3,000～5,000 倍	収穫前日まで / 5 回以内	○
パンチョ T F 顆粒水和剤	E B I + アミドキシム	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	○
モレスタン水和剤	キノキサリン	3,000～4,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	3 日

※その他、被覆後には硫黄粒剤のくん煙処理が可能です。その際は専用の電機加熱式くん煙器を利用してください。

表 2 イチゴ ハダニ類の主な防除薬剤（平成 28 年 10 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※
コロマイト水和剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日
カネマイトフロアブル	1,000～1,500 倍	収穫前日まで / 1 回	○
スターマイトフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日
マイトコーネフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日
コテツフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	10 日
エコピタ液剤	100 倍	収穫前日まで / —	—
粘着くん液剤	100 倍	収穫前日まで / —	1 日

表 3 イチゴ炭疽病の本圃における主な防除薬剤（平成 28 年 10 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※
セイビアフロアブル 20	1,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	○
ゲッター水和剤	1,000 倍	収穫開始 21 日前まで / 3 回以内	○
オーソサイド水和剤 80	800 倍	収穫 30 日前まで / 3 回以内	1 日

表 4 イチゴ疫病の本圃における主な防除薬剤（平成 28 年 10 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率および使用法	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※
ランマンフロアブル	500～1,000 倍液を 100ml / 株で土壌灌注	収穫 30 日前まで / 2 回以内	○
レーバフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日

注) 表 1、2、3、4 のミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針（平成 28 年版）より抜粋しました。○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載しましたが、天候、施設内の環境条件（温度、換気等）により日数が前後することがあり注意が必要です。なお、—は指針に記載なしです。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040